

令和元年 第12回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和元年9月26日

仙北市教育委員会

令和元年 第12回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和元年9月26日(木) 午後1時40分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼学習資料館 ・イベント交流館長	富岡 美津子
北浦教育文化研究所 指導主事	伊藤 昭光
角館学校給食センター 所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	保坂 博明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	真崎 智明
市民会館長兼田沢湖図書館長	佐々木 信介
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一

5 議事

(1) 報告事項

報告第33号	仙北市議会定例会一般質問について
報告第34号	仙北市学校給食調理場等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について
報告第35号	仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和元年第11回仙北市教育委員会9月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には鈴木主事を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、安部委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

(熊谷教育長)

私の挨拶として3点申し上げます。まず、第34回田沢湖マラソン大会が無事に開催されました。今大会のエントリーは5,029人ですが、フルマラソン制限時間を1時間延長したところ、約200人多くなり活気にあふれた大会となったと思う。教育委員会のみならず大勢の職員に感謝申し上げますところでは。

次に2点目です。生保内節全国大会であります。132人の申し込みがありました。今大会は、仙北市出身の吉田さん16歳の方が最優秀賞となり、2年連続して地元からとなり喜ばしいことだと感じています。小山審査委員長からは生保内節の歴史や意義をお話していただき、大変感謝申し上げます。お話しください。

3点目です。議会定例会は明日で終了します。教育委員会といたしましても様々な課題に対し、市議会と協議しながら取り組んでいきたいと考えております。

この後、各地区の文化祭や、大仙仙北美郷町教育委員会連絡会などさまざまな行事が続きますが、しっかりと取り組んで参ります。

(熊谷教育長)

次に9月の事務報告をさせていただきます。

—資料により報告—

(熊谷教育長)

9月の事務報告に質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

報告事項に入ります。報告第33号仙北市議会定例会一般質問について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第33号仙北市教育行政報告について、令和元年第5回仙北市議会定例会一般質問について別紙のとおり答弁したので報告いたします。今回は、8人の質問者の内6人の方から質問がありました。

## 【門脇 晃幸議員】

1. 中教審（中央教育審議会）の直近の大きな動きとして2020年に向けて、大学入試制度改革、学習指導要領の改訂がある。この改革や改訂について当局の所見を伺う。
  - ・平成29年7月に文部科学省から示された「小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について(通知)」等に基づいて、新学習指導要領の全面実施に向けた準備を着実に進めているところです。今後も、指導主事の学校訪問をとおして、指導する学年の変更などにより指導内容の欠落が生じることのないように各学校へ伝えるとともに、指導内容の移行がなく教科書等の対応を要しない総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科、道徳は積極的に新学習指導要領による学習指導が実施されるよう指導・助言を続けていきます。
2. 学習指導要領の改訂
  - (1) プログラミング教育の必修化、市の取り組みについて伺う。
    - ・令和2年度、小学校での新学習指導要領全面実施に向けて、教育委員会では北浦教育文化研究所が中心となり、市内小学校教職員のプログラミングの指導に対する不安感を軽減する目的で、「プログラミング教育体験研修会」を昨年度は3回、今年度は5回開催します。
      - また、低・中・高学年の発達段階に応じた「プログラミング教育で育成したい資質・

能力表」や「仙北市プログラミング教育年間指導計画」を作成して各小学校へ配付し、各校の実状に合わせた計画等構築を支援しています。さらに、北浦教育文化研究所指導主事と各小学校のプログラミング教育担当者が協働で、学年毎の「プログラミング教育授業シート」を作成中です。

(2) 英語教育の必修化、市の取り組みについて伺う。

- ・昨年度から、3・4年生で年間15時間、5・6年生で年間35時間（週当たり1時間）＋年間15時間の年間50時間の外国語活動の授業を行っています。

今年度は、秋田県教育委員会の「拠点校・協力校英語授業改善事業」の研究指定校として生保内小学校と生保内中学校が拠点校、他の全ての市内小・中学校が協力校となり、国際教養大学と連携しながら、外国語活動・英語担当教員の指導力、英語力の向上及び授業改善に向けた共同研究を進めています。

(3) 英語授業必修化の問題点（課題）をどう捉えているか。また、その対策を伺う。

- ・新学習指導要領の全面実施に伴い、授業時数が増加することへの対応が課題と考えています。加えて、5・6年生の場合、教科化されることで数値による評定も必要になることから、担当教員の負担増加も心配されます。3・4年生の外国語活動、5・6年生の教科英語ともに、学級担任が指導することが原則となりますので、その支援を充実させることが対策の一番と考えています。

3. 大学入試制度改革が初等教育に与える影響（課題）をどう捉えているか。その対策を伺う。

- ・これまでの知識・技能の定着を測ることが中心の問題から、基礎的な知識を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力を測ることを重視した問題に見直しが行われるようですが、体系的な学習指導要領に準拠した小学校、中学校、高等学校教育を経て求められる資質・能力が育成されていれば、新たな大学入学者選抜においても、特に懸念されることはないものと捉えています。

4. 教員の働き方改革と教育現場の矛盾をどう捉えているか。その対策を伺う。

- ・教員の働き方改革と教育現場の矛盾は、一番に業務量が変わらない状況にありながらも、各学校に配置される教職員定数が改善されていないことと捉えています。

このことへの対応のため、市教育委員会では秋田県教育委員会に各種加配申請を行い、今年度は「指導方法工夫改善に係る加配」9名、「小学校専科指導に係る加配」1名、「児童生徒支援に係る加配」3名、「統合前支援に係る加配」1名、計14名の加配を受け市内小・中学校へ配置しています。他に心理の専門家であるスクールカウンセラーを非常勤職員として、市内4中学校へ配置していただいています。

## 【黒沢 龍己議員】

1. 中川小学校統合、閉校の進捗状況について

(1) 通学手段について

- ・登校時につきましては、7月3日に開催した第2回統合準備委員会にスクールバスの運行形態・経路について3つの原案を示し、統合準備委員から意見をいただきました。その後、7月18日の中川小学校PTA全体会におきまして、スクールバス運行に係る原案について、それぞれのメリット及びデメリットについてと、運行形態・経路決定までの流れについて説明をしました。

7月31日には、中川小学校PTA正・副会長と教育委員会で、スクールバス運行に関する保護者の意向を確認するためのアンケート内容を協議・決定、夏休み中に保護者

対象の悉皆調査を実施し、現在、アンケートの集計及び分析中です。

#### 【荒木田 俊一議員】

##### 2. 小・中学校へのエアコン設置について

(1) 設置する教室は国に基準が定められたのか。

- ・設置する教室は、普通教室（1年生から6年生まで）、特別教室（理科室・家庭科室、美術室、特別支援学級など）が対象となっています。職員室、校長室、保健室、体育館等は、対象外となっています。

(2) それぞれの学校からの要望等聞き取り調査したのか。

- ・平成31年1月中旬から下旬にかけて各学校と協議をし、設置を希望する普通教室、特別教室の選定をしていただき、各学校の設置教室を図面化し、情報共有のうえ了解を得て進めました。

(3) 基準に合わないものには、市独自で設置できないのか。

- ・この補助事業に関しては、設置教室、機種の様式が決められておりましたが、市単独事業であればエアコンの増設は可能と考えます。

(4) 通級教室は、特別教室にあたるのか。

- ・通級指導教室は、特別教室に分類しています。小学校は、角館小学校、生保内小学校に通級指導教室があり、中学校では、角館中学校1校に通級指導教室があり、学校から要望を聞いた際、夏季利用時には冷房設備設置済教室を使用するとの回答を得たため、今回は、設置対照外といたしました。

#### 【八柳良太郎議員】

##### 1. 平福記念美術館について

(1) ホームページの最初に季節のイベント内容がわかる絵を掲示したらどうか。

- ・広報担当に相談しましたところ変更できるともことでしたので、9月5日に変更作業を終了しております。

(2) 同様にその絵画の画像をじゃらんに掲載して同様の効果を引き出したらどうか。

- ・じゃらんねっとの「東北の美術館ランキング」サイトについてですが、このサイトは、紹介してされている美術館が自分の情報を投稿するのではなく、じゃらんに会員登録をしている観光客が、自分で見た美術館についての感想と評価を投稿するためのサイトですので、平福記念美術館としての投稿はできません。

(3) 金の活用に対し、前回の答弁では基金の活用で非常に手間がかかる場面もあり、その改善点を探っているところであるとのこと。教育委員会で裁量が出来る購入予算を置くべきと考える。館蔵品の充実にはこの考えがベストと考えるが見解を伺う。

- ・今後は、当初予算編成で基金を平福記念美術館の美術品購入予算へ繰り入れし、購入したい作品が出た場合は直ぐに対応できるようにし、購入したい作品が出ない場合は、残額を基金に戻し入れする体制で、館蔵品の充実に努めて参りたいと思います。

(4) 入館者目標について

ここ数年15,000人に到達していない。福田豊四郎展開催で入館者の大幅な増を期待する。決意のほどを伺う。最後に3館共通券の現状について伺う。

- ・入館者目標については、秋田県では人口が年々減少している他、観光客の旅行形態が年々変化していることもあり、美術館運営審議委員の皆様から新年度の事業計画について審議していただく際に、併せて入館者目標についても、ご意見を伺いながら見直しして参りたいと思います。

この度の福田豊四郎日本画展では、小坂町立総合博物館郷土館や秋田県立近代美術館か

ら、今の季節に併せた日本画作品、スケッチ、資料などをお借りして展示しています。また、福田豊四郎は、角館とも大変縁があり、八田菓子舗の「おぼこ餅」のパッケージのデザインを手がけており、今回はそのデザイン画もお借りして展示しています。その他に珍しい資料として、樺細工伝承館で所管している、福田豊四郎が絵付けした角館春慶塗のお盆5点も一緒に展示しています。3館共通券の現状ですが美術館、伝承館、文学館3館合計で、平成29年度は382枚、平成30年度は452枚、令和元年度は4月から7月末までで418枚の販売となっています。

【高久 昭二議員】

3. 仙北市子育て支援と児童生徒の安全対策について

(1) 仙北市学校給食無料化促進と副食の無料提供について

- ・仙北市の急速に進む少子化、また若者の移住、定住対策、出生率向上対策などの一環として給食費の無償化、副食の無料提供、補助対応等を実施することは大きな効果があると考えますが、財源の確保等や、市の財政状況の安定を考慮しながら、検討させていただきます。

【稲田 修議員】

1. 教育現場での死亡事故についてその後の検証結果を問う。

- ・7月24日、生保内中学校PTA役員の一部から聞き取りをしました。翌25日、PTA役員から聞き取りをした内容について校長に確認をしました。7月25日から校長を除く全ての教職員から聞き取りを行いました。8月8日には、スクールカウンセラーを生保内中学校に派遣し、生徒の心のケアや対応に係る配慮事項について、教職員が指導を受けました。  
8月23日、「夏休み明けの職員体制等に係る保護者説明会」を開催、8月26日から28日までの3日間は、スクールカウンセラーに学校へ常駐していただき、生徒たちの「心の健康調査」やカウンセリングの対応をしていただきました。

—資料により説明—

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部委員)

80時間以上過労死ライン以上で、中学校が30.4%とあるが教育委員会ではどのような指導・助言・対応をしているのか。

(三浦教育次長)

状況は近隣の市町と似通っている。数値については5月の実績となっていますので、ゴールデンウィークでの部活動での指導が主なものと思われます。校長も教育委員会も教職員の把握はしているので、お互いに話し合っていたいただきたいと思います。

(安部委員)

5月以外にも調査はあるのか。

(三浦教育次長)

毎月報告がある。それを見ながら学校と協議している。

(坂本委員)

英語教育で、学級担任が指導することが原則とあるが、どのような対策があるのか。

(三浦教育次長)

現在、ALT 3名、日本人の英語助手 2名おります。来年度の専科加配について、現状維持を強く要望していきたい。

(坂本委員)

よりいい対応をお願いしたい。

(熊谷教育長)

それでは、報告第 3 3 号仙北市議会定例会一般質問について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告第 3 4 号仙北市学校給食調理場等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定についてお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

報告第 3 4 号仙北市学校給食調理場等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱を別紙のとおり制定したので報告するものです。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問ありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、報告 3 4 号仙北市学校給食調理場等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告第 3 5 号仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱についてお願いします。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について、別紙のとおり報告するものです。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問ありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、報告第 3 5 号仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について承認いたします。

(熊谷教育長)

次にその他の時間とします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(伊藤北浦教育文化研究所指導主事)

8月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校 1 件、中学校 1 件の認知件数の報告がありました。

以上、8月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷教育長)

8月の報告事案について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

ホームページ公開についてです。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。  
他にありませんか。

(熊谷教育長)

それではこれから、令和元年第12回仙北市教育委員会9月定例会に追加議案の要請がありましたので審議をいたします。

(熊谷教育長)

議案第31号仙北市教育委員会職員の任命についてお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

仙北市教育委員会職員の任命について次のとおり発令するものです。  
－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問ありませんか。  
－質問なし－

(熊谷教育長)

仙北市教育委員会職員の任命について承認いたします。

(熊谷教育長)

議案第32号 公務災害認定請求に係る意見を求めることについて

本議案は、プライバシーに係る案件ですので、仙北市教育委員会会議規則第7条の規定により会議は、教育長が必要を認め、又は委員の発議により出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、秘密会とすることができると規定されております。

お諮りします。本追加議案の審議については、秘密会とすることでご異議ございませんか。  
－異議なし－

それでは、本議案については、秘密会とすることに決定いたしました。

会議につきましては、本議案に係る戸澤教育部長、三浦教育次長、浅利教育次長以外の参与の退席をお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、議案第32号公務災害認定請求に係る意見を求めることについては承認いたします。これで令和元年度第12回仙北市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時35分)